

平成24年度予算案について

(H24.02.07記者発表)

私にとりましては、3期目最初の全体予算となる平成24年度の各会計予算案がまとまりましたので、その概要についてご説明申し上げます。

平成24年度予算編成の基本的考えとしては、経費の節減を継続するとともに、優先度や緊急度、効果などを勘案した選択と集中による効率的な事業の展開に取り組むこと、としたところであります。

また、財政の標準的なあるべき姿を定めた「財政標準化計画」をもとに、中長期的視点に立った持続可能な財政構造の構築のため、収支バランスを維持し、公債費の抑制や基金などの財源確保を図ることで、将来に向かって安心できる財政基盤の確立に努めるものとなりました。

編成に当たっては、第6期総合計画に掲げた6つの基本目標に沿って、「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現に向けて、「市民協働」を基本理念に、マニフェストでお約束した公約の着実な推進・実施のため、「活力」と「安心」の2つを柱に、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5項目を重点施策として、社会保障関係経費の財源を確実に措置しながら、現下の厳しい景気・雇用情勢を踏まえ、一定の事業量を確保するとともに、雇用・経済活性化策などの施策も盛り込み、本市が有する「まちのちから」と「ひとのちから」で、成長と発展が続く都市づくりを目指す「躍動する千歳 さらなる“前進”予算」として、取りまとめたところであります。



予算の内容として、「勇舞中学校建設事業」では4月の開校後の仕上げ工事となる駐車場等の整備、「(仮称)花園地区コミュニティセンター整備事業」では11月のオープンに向けた整備があるほか、「道の駅リニューアル事業」、「スポーツセンターリニューアル事業」、そして、道立特別支援学校高等部の平成25年度開校に向けた「施設改修事業」などを行います。

また、「支笏湖温泉開発事業」や、新たに「特別支援学級設置事業」、「支笏湖ヒメマスふ化場整備事業」に着手します。

これらの実施に伴い、マニフェストに掲げた58項目のうち、54項目が着手済みとなります。

予算額としては、一般会計で、421億2千7百万円となり、前年度比で、13億6千9百万円の減となっております。

特別会計の合計額では、132億9百万円となり、前年度比で、6億4千万円の増となりました。

これに公営企業会計を加えた総体額で、699億6千9百万円の規模として取りまとめたところであります。

なお、介護保険は来年度が3年に1度の事業計画の見直し時期に当たっており、基準保険料については介護保険サービスの伸びなどにより、現在の月額3,139円から3,750円への改定を見込んでおります。

また、平成24年度の重点施策につきましては、第三期重点施策の「重点施策の体系」にありますように、5項目に対して、62の細事業を位置づけ、千歳市の持続ある発展のため、重点的に取り組んでまいります。

この予算案につきましては、3月1日に開会予定の第1回定例市議会に提案してまいりたいと考えております。